

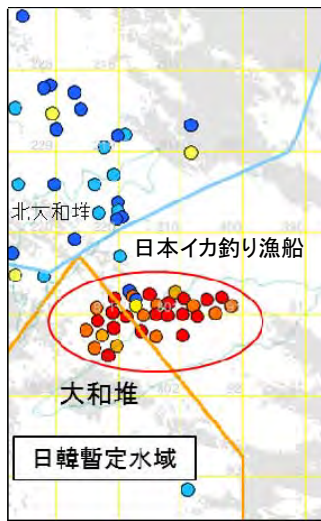
## 日本海大和堆周辺水域における外国漁船への対応状況について (平成30年漁期)

### <5月～8月>

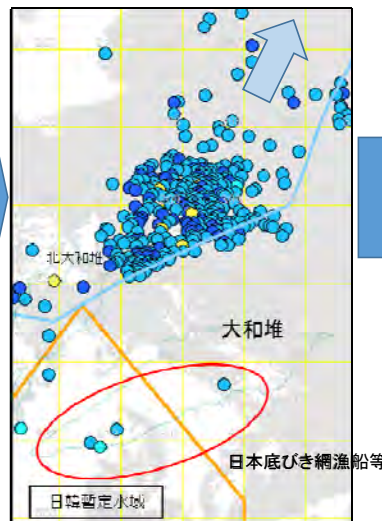
我が国イカ釣り漁業の漁期(6月)前の5月から、水産庁漁業取締船を重点的に配備し、海上保安庁とも連携しつつ、大和堆周辺水域などへの北朝鮮等漁船の侵入を阻止(5月中旬から北朝鮮漁船を確認)。

北朝鮮漁船は7月下旬頃までは大和堆周辺の我が国EEZの外側で操業し、以降、北方に操業海域を拡大。(我が国イカ釣り漁船は6月末に北海道沖に移動)

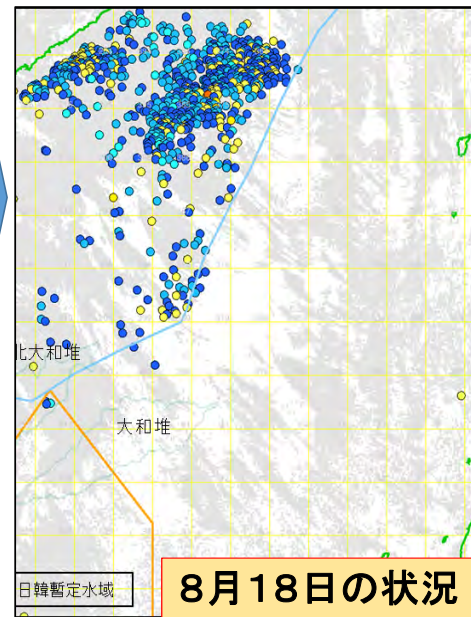
光点の明るさ	凡例
暗	暗い作業灯の船
作業灯程度の船	作業灯程度の船
低輝度灯光漁船	低輝度灯光漁船
中輝度灯光漁船	中輝度灯光漁船
高輝度灯光漁船	高輝度灯光漁船



6月24日の状況



7月24日の状況



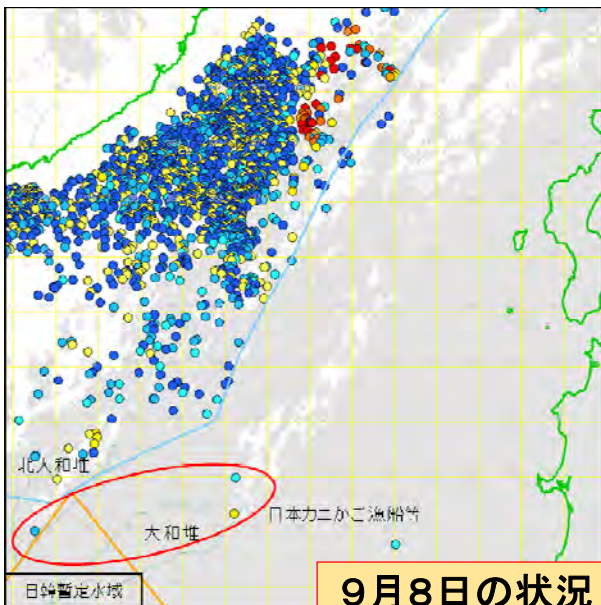
8月18日の状況

・ 図中の○(丸印)は、夜間の衛星画像から光を抽出したもの(明るさの度合:水色<青<黄<橙<赤)で、操業中の漁船のほか、航行中の漁船や一般船舶も含まれます。明るさは、雲や月明かりの影響を受けます。

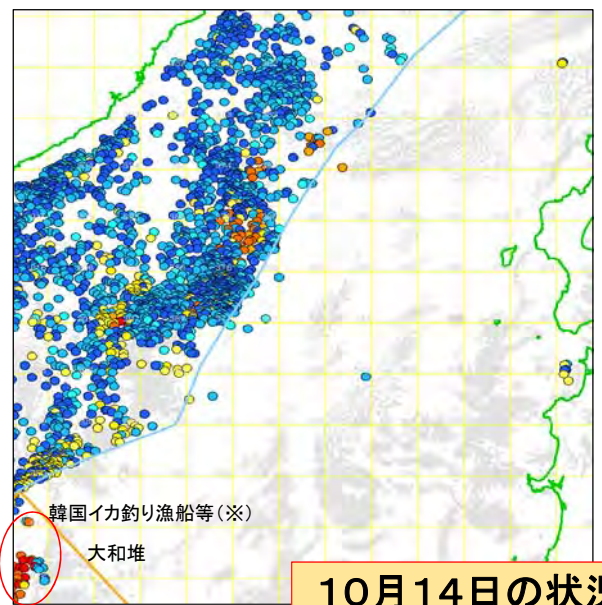
・ 目安として、水～青色(暗い作業灯～作業灯程度の船)は北朝鮮漁船(木造船)、日本カニかご漁船等、黄色(低輝度灯光漁船)は北朝鮮中型イカ釣り漁船(鋼船)等、橙～赤色(中～高輝度灯光漁船)は中国・韓国・日本イカ釣り漁船等の可能性があります。

### <9月～10月中旬>

水産庁は、北海道沖の日本海北部まで取締船を配置し、海上保安庁とも連携しつつ、我が国水域に侵入する北朝鮮漁船を放水等厳しい退去警告により追い出し。この状況が10月中旬まで継続。(我が国イカ釣り漁船は北海道沖で操業)



9月8日の状況



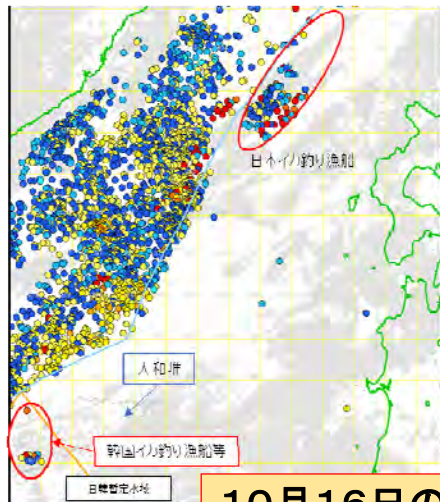
10月14日の状況

※日韓暫定水域内では、韓国漁船も操業可能。



## <10月中旬>

10月17日、多数の北朝鮮漁船が津軽海峡西方の我が国EEZに侵入し、漁場を探索に南下してきた我が国イカ釣り漁船と遭遇。このため水産庁は、同日複数の漁業取締船を日本漁船の周辺に急行させ、日本漁船の安全確保を第一とする対応を実施。



10月16日の状況



10月19日の状況

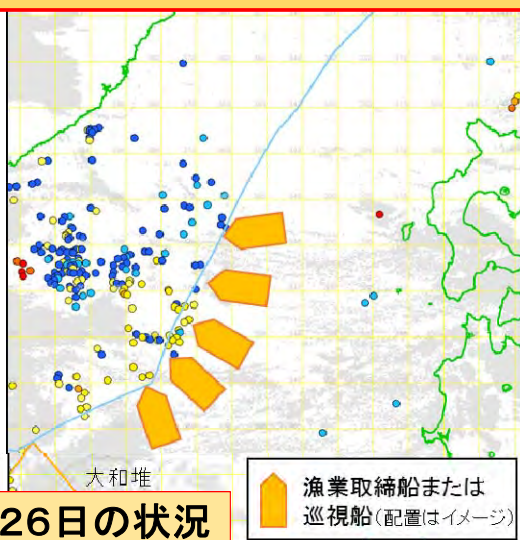
## <10月下旬～現在>

水産庁は、さらに漁業取締船を集中配置し、海上保安庁巡視船とも協力することにより、翌週までに大部分を我が国EEZから排除。

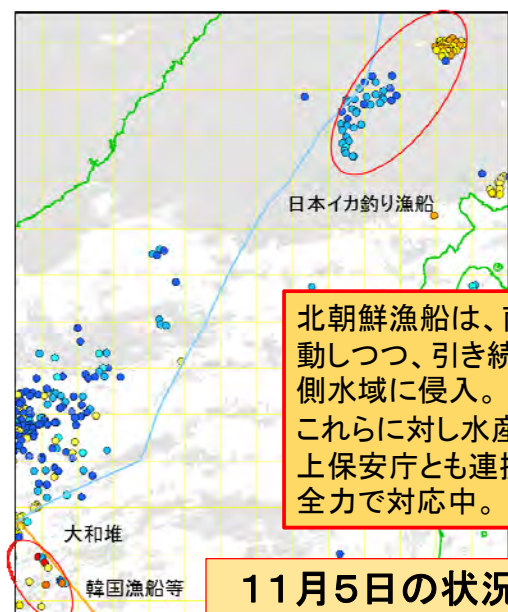
その後北朝鮮漁船は、南西に移動しつつ我が国EEZに侵入。これに対し水産庁は、海上保安庁と連携しつつ、引き続き我が国EEZから排除すべく全力で対応。(我が国イカ釣り漁船は、漁場を探索しつつ再度北海道沖に移動)

侵入した北朝鮮漁船を取締船で包囲し排除。

この日の画像は、満月の影響により暗い光(=木船等)は識別できていない可能性があるが、取締船・航空機の情報から、大部分を排除した旨を確認。



10月26日の状況



北朝鮮漁船は、南西に移動しつつ、引き続き、日本側水域に侵入。これらに対し水産庁は、海上保安庁とも連携しつつ、全力で対応中。

11月5日の状況